

横浜市総合リハビリテーションセンター 共同研究のご案内



共同研究について

ひとりでも多くの方に安全で使いやすい福祉用具や住環境を考えていきたい。

企業や大学の皆さまと私たちの想いは同じです。

皆さまの専門性と当センターの専門性が合致することで新たな可能性が広がることを確信しています。



開発した新素材を福祉分野に活かしたいけど、福祉分野に知識がなくて...



新しく車いすを開発したけど、市販化の前に専門家に意見を聞きたいな...

こんな時は当センターにご相談ください！

無料

専門スタッフによる相談

相談内容に応じて専門スタッフによる基本的なアドバイス。

製品デモンストレーション

毎週月曜日に製品デモの時間を設けています。



有料

臨床評価

評価項目を作成。利点欠点の整理。当事者評価。動作分析、体圧分布測定などの分析。

共同研究・開発

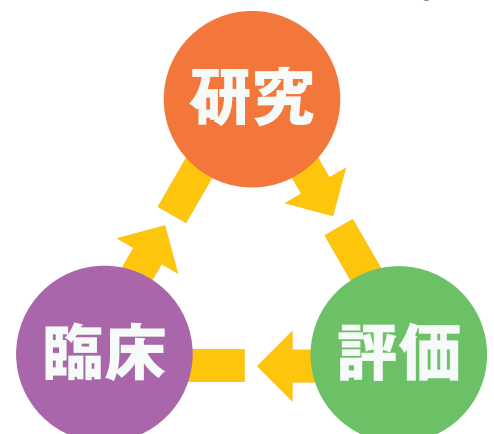
基本設計の実施。完成後のマニュアルづくり等。

特徴1

リハ専門職および障害当事者による臨床評価を受けることができます。

特徴2

臨床現場に役立つ研究・開発が可能です。



身近な問題を一緒に考えていきましょう！

研究成果の一例



4WD 電動車椅子 パトラフォー
(トヨタ自動車東日本(株))



マウスパッド FITTIO
(販売元：エレコム(株))



盲導犬ハーネス
(財)日本盲導犬協会)



(株)ハーツエイコー
代表取締役
浅井悦男氏

Q: 共同研究を決めた経緯を教えてください。

会社創設以来、福祉機器の開発、製造販売、障害のある方向けの住宅改修を行ってまいりました。その様な事業を行う中で、進行性難病の方や、頸椎損傷の方が在宅で快適に、自立した生活を送る為には、環境制御装置が欠かせない事をリハセンターのスタッフより伺いました。弊社には技術者はおりますが、利用者のニーズや製品をご利用される際のリスクに関する知識が乏しく、リハセンターの助言を頂く事で、利用者に適した製品開発が出来ると考えました。

Q: 共同研究を実施した感想をお聞かせください。

リハセンターの豊富な知識とご経験から、利用者のニーズは勿論、製品開発のヒントや、差別化を図れるポイント、製品を利用する上で起こりうる事故や疾病に関する情報を沢山頂く事で製品化する事が出来ました。メーカーだけの力では、これほど多くの情報収集を行う事は大変な事です。社会にも貢献できる製品開発が出来た事は、弊社にとっても大変有難く、感謝しております。



環境制御装置 (ECS)
HE-ECS-X02 の製品化。
価格：25万円～ (2013)。



聖学院大学
教授
野口祐子氏

Q: 共同研究を決めた経緯を教えてください。

これまで、障害児・者の地域における入浴環境の研究や難病患者の障害の進行に合わせた住環境整備の研究を共同で行ってきました。リハセンター利用者にはそれらの情報や効果を必要としている方がおり、研究はその方々の生活に直結し、研究成果をもって、その方々の生活の改善に貢献することができます。研究を臨床の現場で実践し、社会に貢献することができる環境は大変貴重で、共同研究をさせていただくことになりました。

Q: 共同研究を実施した感想をお聞かせください。

リハセンターは、障害児・者の地域生活を支えるリハビリテーションでは豊富な実践経験があり、医師、セラピスト、ソーシャルワーカー、エンジニアなどの連携も充実しています。住環境整備の研究であっても、様々な職種と連携することで多角的な視点を持つことができ、現場で役に立つ質の高い研究成果を得ることができました。



啓発用リーフレット「こどもといっしょに育てる住まい(肢体不自由編)」の作成 (2009年)。

JR/市営地下鉄「新横浜駅」から

- 徒歩 約10分
- 無料送迎バス 約5分

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団
横浜市総合リハビリテーションセンター
地域リハビリテーション部 研究開発課
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1770番地
TEL:045-473-0666(代表)
FAX:045-473-1299



アクセス

共同研究者の声 (メーカー)

共同研究者の声 (大学)